

取扱説明書

《特記事項》

(1) 鍵を紛失した場合 5,000 円 (税別) の再発行手数料が発生する。

《注意事項》

初回の入庫について

ご契約後は現況有姿でのお引渡しとなります。リアオーバーハング、タイヤ幅、最低地上高等車検証には記載の無いサイズもあることから、使用するお車のサイズが駐車場のサイズ制限内かどうかは必ず現地にてご自身でご確認ください。

初回入庫時には事前にサイズを確認の上、十分注意をして入出庫をお願いいたします。試し入れ時や契約後に事故等が発生した場合、貸主及び管理会社並びに保証会社では一切の責任を負いかねます。

《遵守事項》

使用者は本駐車場においては下記事項を守らなければならない。

※月極駐車場一時使用契約約款内の「遵守事項」より抜粋

- (1) 引火性物件その他危険物を持ち込まないこと。
- (2) 火気の取り扱い等をしないこと。
- (3) 車両の出入りの際は駐車位置、交通規制等の駐車場内の秩序について、管理者の指示に従うこと。
- (4) 車両の運転に当たっては安全運転をすること。
- (5) 甲又は丙の許可を得たもの以外、物品の販売、自動車の修理(簡易な修理を除く)その他秩序を乱す行為は一切行わないこと。
- (6) 駐車場において物件を損傷し又は事故を起こしたときは直ちに甲又は丙に届け出ること。
- (7) 駐車場内に空き缶・タバコの吸殻等を廃棄しないこと。
- (8) 他の車両の駐車位置を侵さないこと。
- (9) 予め駐車場の取扱説明書を確認し、その記載事項に従うこと。
- (10) その他甲又は丙の定める一般的な指示に従うこと。

以上



サーキュラータワー

エレベータ方式立体駐車装置

NHC

取扱説明書

契約利用者用

はじめに

このたびは、サーキュラータワーを ご利用いただきまして ありがとうございます。

本取扱説明書（以下本書）は、管理責任者から立体駐車装置（以下装置）の取り扱い教育を受け、装置の操作権限を得た契約者および駐車場係員向け取扱説明書です。

本書には、安全、かつ快適にご使用いただくための大切な事項が記されております。

ご使用にあたっては本書をお読みいただき、必ず管理責任者による取り扱い教育を受け、操作権限を得た契約者および駐車場係員のみが操作をしてください。

管理責任者は、運営および維持管理に関して、管理規定の制定をお願いします。

本書をお読みになった後は、いつでも手に取れるところに保管してください。

なお、本書の記載内容を遵守しない場合に発生した事故、故障、破損に関しては、当社は責任を負いません。

《用語説明》

管理責任者・・・装置の運営・管理を行う人

契約者・・・管理責任者より装置の取り扱い教育を受け、装置の操作を行う人
（主に定期利用や月極利用の場合に該当します）

駐車場係員・・・管理責任者より装置の取り扱い教育を受け、装置の操作を専任で行う人
（主に時間貸利用の場合に該当します）

車の運転者・・・車を運転して装置に車を乗り入れる人

-
- 係員および契約者への安全指導と場内の安全確保
および装置の維持管理は管理責任者の責務です

ご使用前に必ずご熟読ください

目次

1	安全上のご注意 3
2	サーキュラータワーの装置概要 10
3	操作盤の説明 12
4	自動運転の操作方法 14
5	非常停止の操作方法 18
6	災害などの非常事態の対処 19

立体駐車装置には
各種警告シールを貼っています



警告内容を厳守してください！！

1




安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくためのご注意

装置の使用方法を誤ると、事故、故障、破損につながる危険性があります。
以下に、装置を使用する上での注意事項を記載します。
装置を実際に操作する契約者および駐車場係員の方は、注意事項をご熟読いただき、必ずお守りください。



● 表示の意味

危険を防止するために、本文中に下記『警告表示』をつけております。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、『死亡または重症を負う危険が切迫して生じることが想定される』内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、『死亡または重症を負う可能性が想定される』内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、『軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される』内容です。

● 図記号の意味

安全にお使いいただくために、本文中に下記『記号』をつけております。

 禁止	この記号は”禁止事項”を説明しています。 装置の使用に際し、『してはいけない危険行為』を表す内容です。
 強制	この記号は”強制事項（指示事項）”を説明しています。 装置の使用に際し、『必ず実行しなければいけないこと』を表す内容です。

⚠ 危険

⊘ 装置の取り扱い教育を受けていない人の操作禁止

管理責任者による取り扱い教育を受けた装置の契約者および駐車場係員以外は、装置の操作を行わないでください。装置の操作には、必要な知識、非常時の対処方法、取り扱い上の注意事項などの教育を受ける必要があります。

また、管理責任者は、契約者および駐車場係員に変更が生じたときは、取り扱い教育をしてください。



誤った操作は、重大な装置の事故や故障、災害につながる恐れがあります。

⊘ 疾病・酒気帯時の操作禁止

管理責任者より運転教育を受けた方であっても、疾病・酒気帯時には、装置を操作しないでください。

重大な事故となる恐れがあります。

ⓘ 操作の前に装置内の無人確認

操作の前に必ず、車の運転者が目視による装置内の無人確認を行ってください。モニタの画面だけを見ながら操作することは絶対にしないでください。また、装置内に人がいるときは絶対に操作しないでください。

人が作動中の装置に巻き込まれ、重大な事故となる恐れがあります。

ⓘ 無人確認モニタが映らないときは連絡する

無人確認モニタ映像が乱れているときや、映らないときは、操作を続行せず、メンテナンス会社または、管理責任者に連絡してください。

安全装置が故障した不安全な状態で使用すると、死亡または重傷を負う恐れがあります。

⊘ 車の運転者以外の装置内立入禁止

入庫の際、車の運転者以外は装置内に入らないでください。

装置内に閉じ込められ、重大な事故となる恐れがあります。

ⓘ 操作盤から離れない

操作中は操作盤のそばから離れないでください。お子様や動物の侵入には十分注意してください。

非常事態が発生した場合、非常停止ボタンを押すのが遅れ、重大な事故となる恐れがあります。

ⓘ お子様とは一緒に行動する

お子様とは手をつなぐなど一緒に行動し、お子様から離れないでください。装置の操作中もお子様には細心の注意をはらってください。

⊘ 装置の作動中は装置内立入禁止

装置の作動中は、装置内に入らないでください。特にお子様にはご注意ください。

人と作動中の装置が接触し、重大な事故の原因になります。

⊘ 通路および退避場所以外は立入禁止

通路および退避場所以外に立ち入らないでください。また、ピット（駐車室地下）内に降りたり、ハシゴを登らないでください。

死亡または重傷を負う恐れがあります。

⊘ 装置内に物を落としても、自身で拾わない

装置内の隙間や手の届かない所（ピットなど）に落し物をした場合は、必ず、メンテナンス会社に連絡してください。

ご自身で装置内に入るとケガをする恐れがあります。

⚠ 危険

❗ 入出庫後は自動扉を閉める

無人確認をし、周囲の安全および扉部に障害物がないことを確認して自動扉を閉め、完全に閉まったことを必ず確認してください。

扉を開けたまま放置すると人の侵入を防げず、死亡または重傷を負う恐れがあります。

❗ 自動扉が開いたまま放置されているときは連絡

自動扉が開いたまま放置されているときは、管理責任者またはメンテナンス会社に連絡してください。

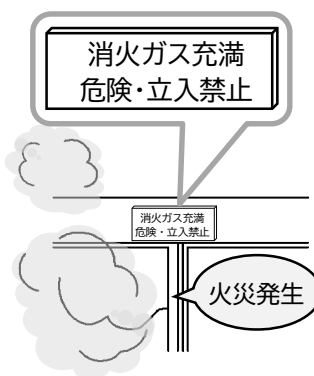
🚫 消火ガス放出表示灯の点灯時は装置内立入禁止

消火ガス放出表示灯の点灯時は装置内に立ち入らないでください。鎮火後も消防署による安全確認がされるまで、絶対に近づかないでください。

装置内に充満した消火ガスで、中毒する危険があります。

❗ 避難警報にしたがって退出

消火設備の避難警報アナウンスが流れた場合には、ただちに装置内から出てください。鎮火後も消防署による安全確認がされるまで、絶対に近づかないでください。



消火ガスが放出されますので、中毒死する危険があります。

🚫 手動運転モードの操作禁止

自動運転モード以外では操作しないでください。安全装置に関係なく作動します。

安全装置に関係なく作動しますので、大変危険です。重大な事故となる恐れがあります。

❗ 装置内に閉じ込められたときは

◆ 装置内に閉じ込められたときは、以下の状況に応じて行動してください ◆

車内にいる場合

- 🚫 絶対に車外には出ないでください。窓から顔や手を出さないでください。
- ❗ 車のドアを閉めて、クラクションを鳴らすなど、外部に閉じ込めを知らせてください。また、携帯電話やスマートフォンなどで外部に連絡し、助けを求めてください。

車から出ようとすると、死亡または重傷を負う恐れがあります。

車外にいる場合

- ❗ ただちに退避場所に避難し、【非常停止】を押してください。
- 🚫 作動する装置(パレット、搬器)には絶対に近づかないでください。
- ❗ 大声で装置外の人に助けを求めてください。
- ❗ 作動中の装置が確実に停止したことを確認してから、非常脱出口より外に退避してください。
- ❗ 非常脱出口から脱出できない場合、退避場所から携帯電話やスマートフォンなどで外部に連絡し、助けを求めてください。

死亡または重傷を負う可能性があります。

閉じ込めに気が付いた場合

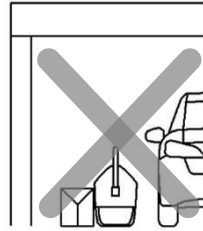
- ❗ 操作者は作動中に装置内からクラクションや大声が聞こえるなど、装置内で閉じ込めが起こっているとわかったときは、ただちに【非常停止】を押してください。

万一、装置作動後に装置内に人がいたときは、ただちに【非常停止】を押し、装置を停止してください

⚠ 警告

⊘ 装置内では入出庫以外の行為禁止

車の修理、洗車、点検などは絶対にしないでください。
トランクの開閉も装置内では行わないでください。
また、自転車や箱など、車以外の物を置くこともしないでください。



装置の故障の原因になります。
物や人が装置に挟まるなど、重大事故の原因となります。

⊘ 装置内は火気厳禁

装置内は車とともに多量のガソリンが持ち込まれています。
タバコやマッチなどの火は確実に消してください。



火災の恐れがあります。

⊘ 装置内に危険物の持ち込み禁止

装置内に危険物（火気・揮発性の高いもの・爆発する恐れのあるもの・燃えやすいもの・人体に影響をおよぼす化学物質など）を持ち込まないでください。

⊘ 危険物を積載した車の入庫禁止

危険物や重量物を積載した車は、入庫しないでください。

装置が緊急停止したり、車や機械が損傷したりする恐れがあります。

⊘ 入庫可能としている寸法・重量を超える車の入庫禁止

入庫可能としている車両寸法および車両重量に公差は含まれません。
車検証上では寸法内であっても、実際の寸法および重量が条件を満たさない場合は入庫できません。

装置が緊急停止したり、車や機械が損傷したりする恐れがあります。

◆ 下記の車は入庫できません ◆

- ⊘ キャリア類を装着した車や改造車
- ⊘ 過積載による重量オーバー車
- ⊘ ドアミラーをたためない車
- ⊘ トラックおよび二輪車、三輪車

入庫可能な車両寸法・車両重量の詳細については「2.サーキュラータワーの装置概要」を確認してください。

⊘ リモコンエンジンスターターの使用禁止 駐車時は車のエンジンは必ず停止

駐車時は車のエンジンを必ず停止してください。
また、ターボタイマーなども使用しないでください。
また、ライトの消灯も忘れないようにしてください。

排気ガスが装置内に充満し、一酸化炭素中毒や過熱火災を起こす恐れがあります。

⊘ 装置外にいるとき、および装置の作動中は 車のリモートコントロールキー操作禁止

リモートコントロールキーによるドア・ドアミラー・トランクなどの開閉操作、ロックの解除などを行わないでください。
(装置外からでもリモコンの電波が届く場合があります)

駐車中の車のロックを解除すると装置の振動などでドアが開く恐れがあります。
また、装置が緊急停止したり、車や機械が損傷したりする原因となります。

⚠ 警告

❗ 異音・異常の発生時は非常停止を行いメンテナンス会社に連絡

装置の運転中に異音や異常などが認められるときは、ただちに【非常停止】を押し、メンテナンス会社または、管理責任者へ連絡してください。

重大事故が発生したり、被害が拡大する恐れがあります。

🚫 メンテナンス作業中は装置内立入禁止および操作禁止

メンテナンス作業を行なっている場合は、装置内に立ち入らないでください。操作は行わず、メンテナンス作業員の指示にしたがってください。

❗ 災害などの非常事態時はただちに装置外へ退出

災害発生時は、ただちに装置外へ退出してください。

装置内に閉じ込められたり、災害に巻き込まれる恐れがあります。

🚫 非常脱出口付近には物を置かない

非常脱出口の位置を確認し、扉の開閉に障害となるものを置かないでください。

物や人が装置に挟まるなど、重大事故の原因となります。

❗ 同乗者は装置外で乗降

同乗者の乗降は必ず、装置外で行ってください。



誤って閉じ込められる恐れや装置内で転倒して、ケガをする恐れがあります。

🚫 運転者以外の同乗者は装置内立入禁止

装置内への入場は安全検出装置の関係から運転者1名のみです。入出庫の際は、同乗者の安全に十分気をつけてください。車の中に人(特にお子様)やペットを絶対に取り残さないでください。

🚫 装置内での荷物の積み降し禁止

荷物の積み降しは、装置外で行ってください。

荷物を取り残したり、荷物を積み降ろし中の人が装置内に誤って閉じ込められ、事故となる恐れがあります。

❗ 自動扉は開けた人が閉める

装置内への閉じ込めを防ぐため、自動扉は開けた人が閉めてください。

⚠ 注意

🚫 収容条件に当てはまらない車は入庫禁止

装置には、収容可能な車の寸法・重量などの条件がありますので、条件に当てはまらない車は入庫しないでください。

装置が緊急停止したり、車や機械が損傷したりする恐れがあります。

🚫 タイヤチェーン装着車は入庫しない

パレットや装置を傷つける恐れのあるタイヤでの入庫はしないでください。

⚠ 注意

❗ 雪は装置外で落とす

雪や氷が車に付着している場合は、入庫前に取り除いてください。

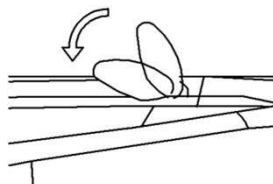
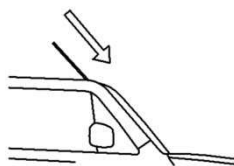
❗ 入庫待機中はサイドブレーキをかける

ギヤをパーキングレンジまたは、ニュートラル(マニュアル車の場合はローまたはバック)に入れ、サイドブレーキをかけて待機してください。アクセルとブレーキの踏み間違いや、積雪・凍結によるスリップに注意してください。出庫時は閉まる自動扉に接触しない位置まで車を出してください。



❗ アンテナは必ず入庫前に折りたたむ

アンテナは、装置内に入る前に必ず格納もしくは折りたたんでください。また、高さ制限を超える可能性のあるものは、事前に取り外してから入庫してください。



❗ ドアミラーは必ず入庫前に折りたたむ

制限幅よりはみ出さないよう、入庫前にドアミラーは折りたたんでください。

❗ 車は前進で入庫

前進入庫専用です。出庫時も前進で出庫できます。車を入庫するときには、必ず前進で入庫してください。

❗ 前方の鏡を見ながら最徐行運転(時速5km程度)で入庫

車の移動は最徐行で行ってください。急発進、急停車はしないでください。

❗ 入庫する時は、停止位置を確認

入庫時の停車位置は、前方の進入案内灯の表示にしたがってください。誤った停車位置では、入庫できません。

❗ 入庫したらサイドブレーキをかけ、エンジンを停止

サイドブレーキをかけ、シフトレバーをパーキングレンジ(マニュアル車はギヤをローまたはバック)に入れ、エンジンは必ず停止してください。(寒冷地では凍結防止のためパーキングブレーキを掛けない場合、車止めなどを利用して車が動かないように固定してください)



雪や氷が装置内に落ちると、車や機械が損傷または故障の原因になる恐れがあります。

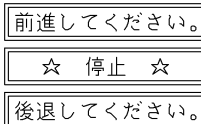
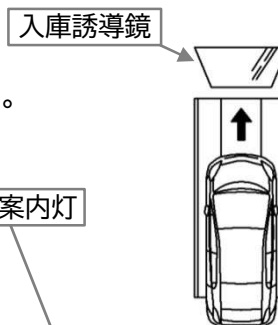
車が急発進して、事故となる恐れがあります。

センサが感知して、装置が緊急停止したり、車や装置に損傷を与える恐れがあります。

後退で入庫すると、装置の損傷や故障の原因になります。

パレットおよびタイヤガードに接触して、タイヤのパンクやホイールの損傷、また、前進しすぎて鏡に衝突する恐れがあります。

装置作動中に車が動いて、車や装置が破損する恐れがあります。



⚠ 注意

❗ 車のドアを確実に閉める

降車時に全てのドア、ハッチバック、トランク、給油口などを確実に閉め、ロックしてください。(各種センサを設けていますが、車種、ドア形状、位置などにより検知できない場合があります)

❗ 操作の前に自動扉周辺の無人を確認

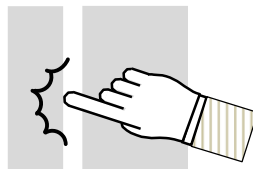
自動扉の近くに人がいないこと、周辺の安全が確保されていることを必ず確認してください。

❌ 操作盤はカギなどの突起物で操作しない

操作盤はカギ先、ペン先などの鋭利なもので操作しないでください。操作盤は必ず指で操作してください。

❌ 自動扉には手を触れない

指をはさまれるなど、ケガをする恐れがあります。



❗ 入退出時は足元、頭上に注意する

装置内には、機能上必要な隙間や突起部分、段差などがありますので、足元、頭上には注意してください。特に歩行補助具(杖など)、車椅子およびハイヒールやサンダルなどを使用の際は注意してください。

❌ 緊急時以外は非常脱出口を開けない

装置内に閉じ込められるなどの緊急時以外は開けないでください。

❌ 装置内に物を置かない

装置内に物を置くと、センサによる安全確認が行えません。

❗ 人の目でも必ず確認

装置は各種センサの設置など、安全面には最大の注意をはらって製作されていますが、より安全にご利用いただくため、自らの目でも必ず確認してください。

❌ 装置内の機器には触れない

装置内のセンサや制御盤などは不用意に触らないでください。

❗ 車のカギを確認

出庫操作を行う際は、車のカギを持っていることを確認してください。車が出庫された後でカギがないと、再入庫操作を行うことになり、次の利用者の出庫操作がスムーズにできません。

装置の作動中にドアなどが開くと、装置が緊急停止したり、車や装置が破損する恐れがあります。

人が自動扉に接触して転倒するなど、ケガをする恐れがあります。

操作盤が損傷し、操作ができなくなる恐れがあります。

ケガをする恐れがあります。

転倒するなど、ケガをする恐れがあります。

非常脱出口を開けると、装置が緊急停止します。

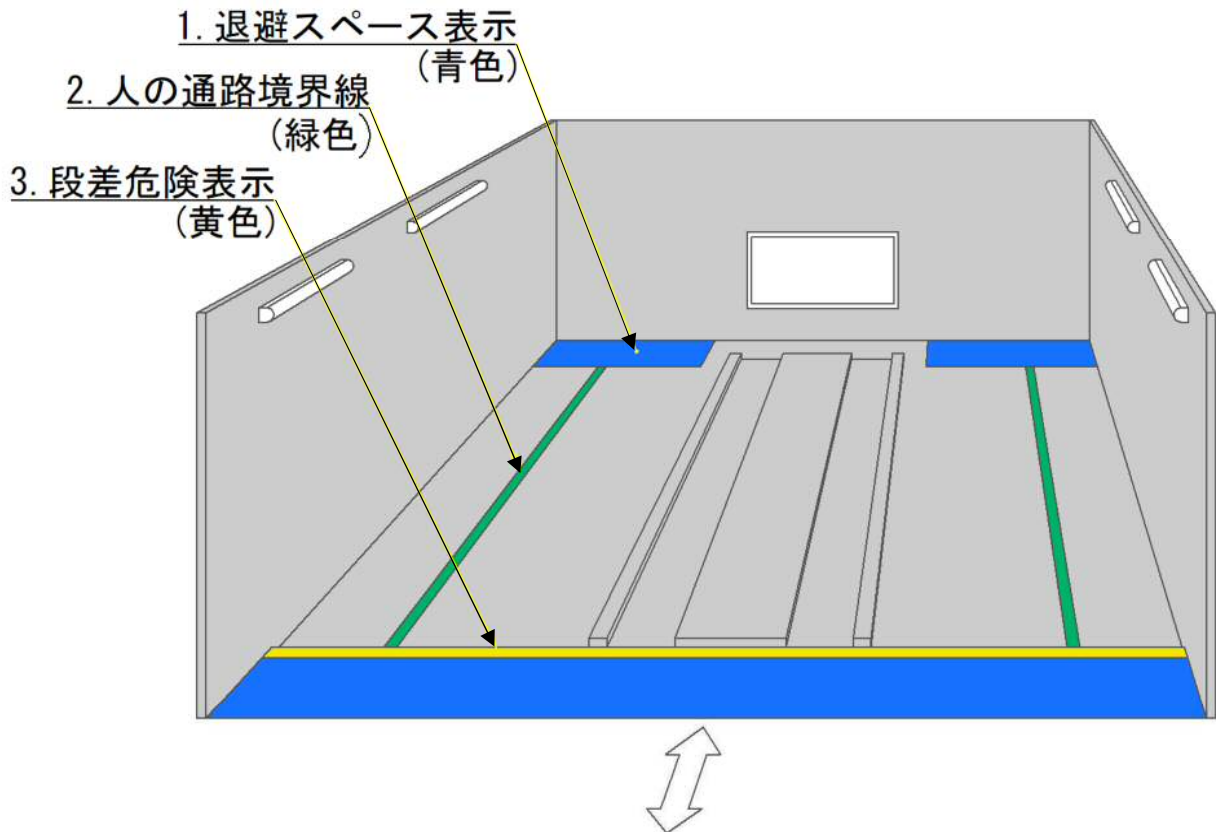
装置に接触し、正常な運転ができなくなり、車や装置に損傷を与え、事故の原因になります。

感電や事故、装置の故障の原因となる場合があります。

2

サーキュラータワーの装置概要

● 棟内乗降室の床塗装



1. 退避スペース表示 (青色)

乗降室内に人が残っている状態で、装置が作動した場合に退避する場所を示しています。

3. 段差危険表示 (黄色)

通路となる部分、および歩行が想定される部分で、段差になっている部分を示しています。

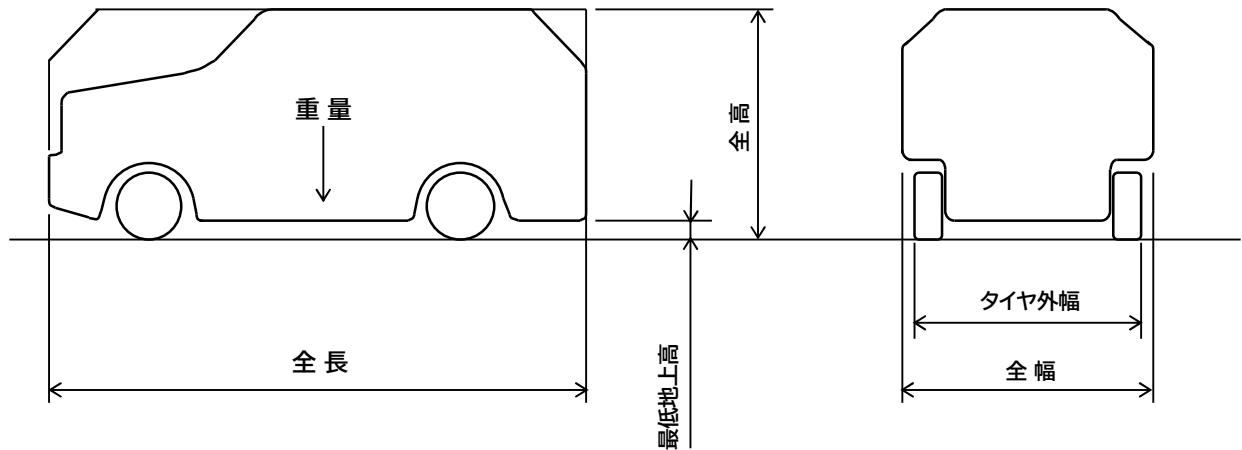
2. 人の通路境界線 (緑色)

通行領域を示しています。

境界線より内側を通行し、緊急時以外は外側に出ないようにしてください。

立体駐車装置に入庫できるサイズと重量は下記の通りです

号機 車種	1号機	2号機
車サイズ	乗用車	ハイルーフ車
全 長 (mm)	5,050	5,050
全 幅 (mm)	2,050	2,050
全 高 (mm)	1,550	2,050
タイヤ外幅 (mm)	1,950	1,950
最低地上高 (mm)	100	100
重 量 (kg)	2,300	2,300



! 注意

- 上記の車のサイズおよび重量に公差は含まれません。車検証上では制限サイズ内であっても、実際のサイズおよび重量が条件を満たさない場合は入庫できません。
- 上記の車のサイズ内であっても、後方制限・側方制限などにより、ドアミラー・スペアタイヤ・アンテナ・リヤルーフスポイラーおよびリヤアンダーミラーなどの形状によって入庫できない場合や定位置に停車しづらい場合があります。
- ドアミラーが折りたためない車は入庫できません。
- トラックは入庫できません。（開放型荷台付車両、幌付車両、軽トラック含む）
- 最低地上高は、パレット中央部を示します。パレット左右には立ち上がりがあるため、オプションパーツの装着などによりドアが開かないことがあります。

入庫可能車であっても、この様な車は入庫しないで下さい



改造車



荷物の積み過ぎによる重量オーバー車



キャリア装着車

3

操作盤の説明

【パレット番号方式】

電源

サーキュラータワーの主電源は、分電盤または引込盤内に設けてあります。

主電源は切らないで常にON状態にしておいてください。

詳しくは〔4〕主電源・立駐分電盤の項を参照してください。

尚、主電源ON/OFFを操作する場合には、操作手順がありますので担当のメンテナンス会社に連絡の上、その指示に従ってください。（但し、消火設備は別電源です）

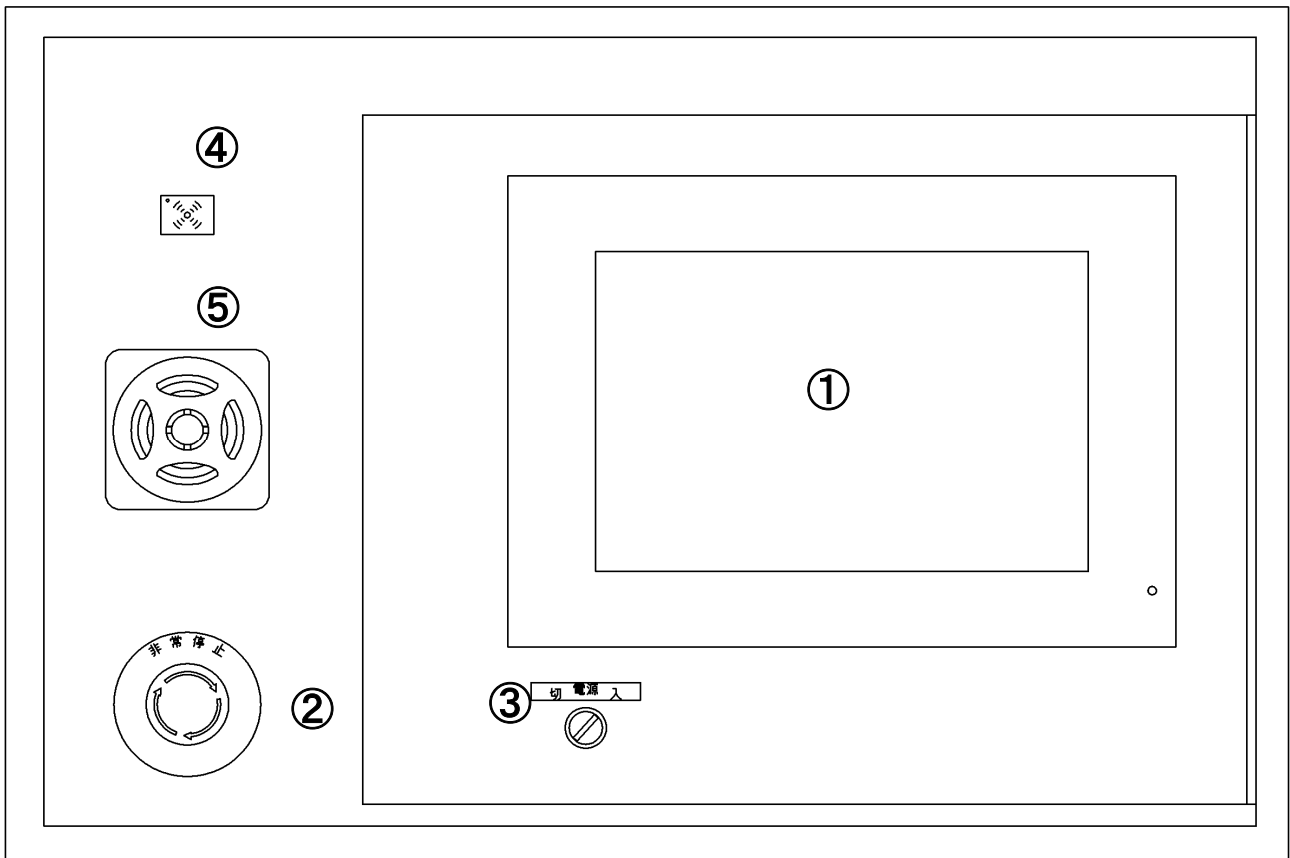
操作盤

この操作盤によりサーキュラータワーの入出庫運転ができます。

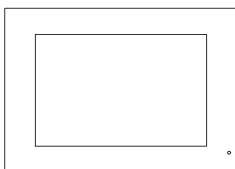
操作盤には小扉がついています。

操作盤を使用しないときは常に小扉を閉めておくようにしてください。

操作盤のボタンおよびタッチパネル画面のボタンの操作は“優しく”そして“ゆっくり”と行ってください。



① タッチパネル（操作画面）



メッセージの表示や棟内の様子を映し出す画面です。直接押して入出庫操作する操作画面です。

入出庫操作時はテンキーやパレット番号とともに下記ボタンが表示されます。

スタート

安全確認

無人確認

② 非常停止



非常時に機械を停止させるためのボタンです。
万一、異常が発生した場合はこのボタンを押してください。

ランプが点灯し、ブザーが鳴り、機械の電源が切れて機械が停止します。

【非常停止】を押した場合は、[10] 非常停止の解除方法 ⚠️ 注意に従ってください。

③ 電源キースイッチ



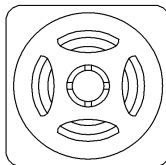
操作盤の電源スイッチです。
「切」のときは、操作できません。

④ アラーム



エラー発生時に吹鳴するブザーです。

⑤ 音声案内装置



扉の閉め忘れや、扉動作前に注意喚起音声を放送します。

以下の2音声を放送します。
・「入出庫完了後、棟内の安全を確認して扉を閉めて下さい。」
・「扉が動きます。ご注意ください。」

タッチパネル画面の取り扱いについて

⚠️ 危険

- ⊘ 画面が暗くて見にくい状態のときは、画面に触れないようにしてください。バックライトの寿命・故障などによって画面が暗くなった場合も、操作部（タッチパネル）のボタンは有効です。誤作動による機械の破損、事故の恐れがあります。
- ⊘ 液晶パネルの液体（液晶）は有害物質です。液晶パネルが破損した場合、流出した液晶を口に入れないでください。皮膚や衣服についた場合は、石鹼などで洗い流してください。

⚠️ 注意

- ⊘ タッチパネルの表示部にはガラスを使用してるので、強い衝撃を与えないでください。破損の恐れがあります。
- ⊘ 先が鋭利なもので、タッチパネルを押さないでください。

4

自動運転の操作方法

暗証番号方式 による 入庫 操作手順

警告 装置の運転教育を受けていない人の操作は禁止です

● 運転前に以下に示す確認を目視およびモニタにて行ってください。

- 1) 棟内が無人的であること。
- 2) パレットや搬器上にゴミ、油、その他異物がないこと。
- 3) 自動扉のレールの上に異物がないこと。
- 4) 自動扉・非常脱出口・入庫誘導鏡・進入案内灯・照明設備などに異物や損傷がないこと。

※ 操作入力の間隔が10秒を超えると、それまでの操作がリセットされます。
暗証番号を入力する操作からやり直してください。(車の棟内への“入庫”、棟外への“出庫”作業は除く)

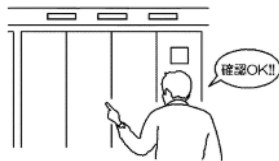
① 車を自動扉前に(自動扉の中央を目指して)停車させてください。
(同乗者は停車の際に降車してください)

② 操作盤の小扉を、鍵で開けてください。

③ タッチパネルのテンキーで暗証番号を入力し、確認ボタンを押してください。



④ 自動扉周辺の安全を確認し、タッチパネルの【安全確認】を押してください。

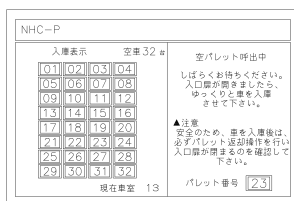
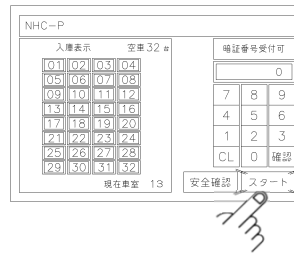
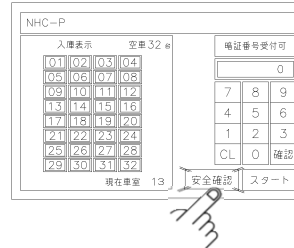
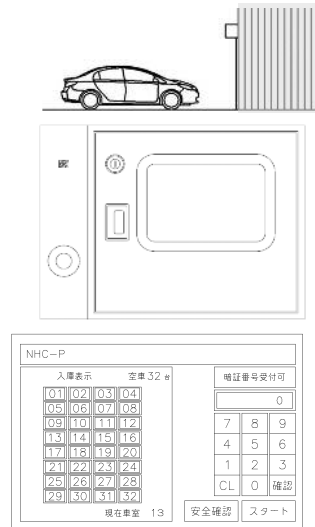
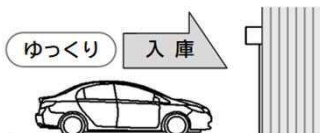


⑤ タッチパネルの【スタート】を押してください。
入庫パレットを準備します。
入庫準備完了後、自動扉が開きます。

自動扉が動作時は音声案内が流れます。
「扉が動きます。ご注意ください」

入庫を取りやめる場合
出庫操作の⑥～⑪を行ってください

⑥ 棟内へ“ゆっくり入庫”してください。



警告表示

危険

棟内には車の運転者以外は入らない

注意

操作するときは自動扉周辺の無人を確認する

警告

棟内は火気厳禁

収容可能車以外は入庫しない

同乗者は入庫前に降車させる

荷物は入庫前に下ろす

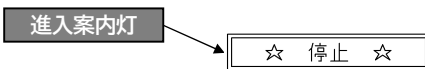
注意

アンテナ・ドアミラーは格納する

自動扉には手を触れない

車は前進で入庫する

- ⑦ 「進入案内灯」の表示に従いパレット上の定位置に車を停車させてください。



- ⑧ 運転者は棟外へ退出してください。

自動扉が開いた後、音声案内が流れます。
「入出庫完了後、棟内の安全を確認して扉を閉めてください」

- ⑨ もう一度、タッチパネルのテンキーで暗証番号を入力し、確認ボタンを押してください。



- ⑩ 棟内および車内の無人をモニタおよび目視で確認し、タッチパネルの【無人確認】を押してください。

この操作は車の運転者が行ってください

- ⑪ 自動扉周辺の安全を確認し、タッチパネルの【安全確認】を押してください。

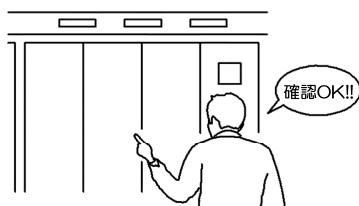


- ⑫ タッチパネルの【スタート】を押してください。
自動扉が閉まり入庫を開始します。

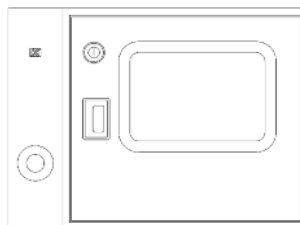
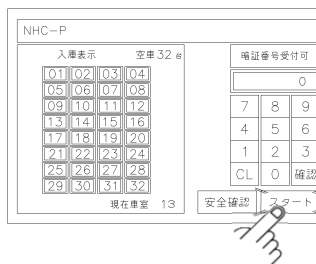
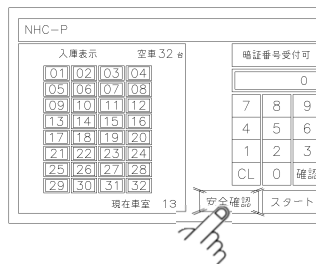
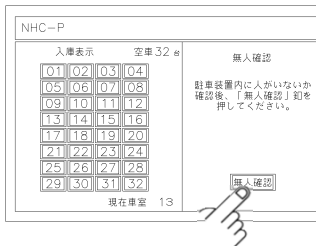
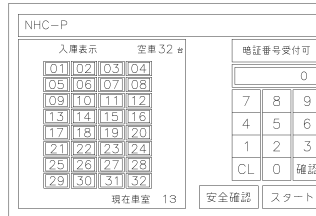
自動扉が動作時は音声案内が流れます。
「扉が動きます。ご注意ください」

- ⑬ 操作盤の小扉を閉めてください。
※小扉は、閉めたら自動的に鍵がかかります。

- ⑭ 自動扉が閉まったことを確認後、駐車場から離れてください。



操作終了です。



警告表示

⚠ 注意

- ❗ 入庫誘導鏡を見ながらゆっくりと入庫する
- ❗ パレット上の定位置に停車する
- ❗ 入庫したらサイドブレーキを引く
- ❗ 駐車時は車のエンジンを止める
- ❗ 車のドアは確実に閉める

⚠ 危険

- ❗ 操作するときは棟内の無人を確認する

⚠ 注意

- ❗ 操作するときは自動扉周辺の無人を確認する
- 🚫 自動扉には手を触れない

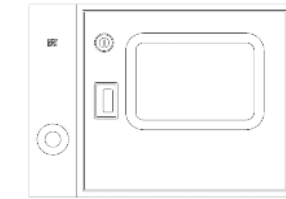
暗証番号方式 による 出庫 操作手順

警告 装置の運転教育を受けていない人の操作は禁止です

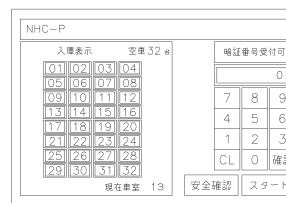
- 運転前に以下に示す確認を目視およびモニタにて行ってください。
 - 1) 棟内が無人であること。
 - 2) パレットや搬器上にゴミ、油、その他異物がないこと。
 - 3) 自動扉のレールの上に異物がないこと。
 - 4) 自動扉・非常脱出口・入庫誘導鏡・進入案内灯・照明設備などに異物や損傷がないこと。

※ 操作入力の間隔が10秒を超えると、それまでの操作がリセットされます。暗証番号を入力する操作からやり直してください。(車の棟内への“入庫”、棟外への“出庫”作業は除く)

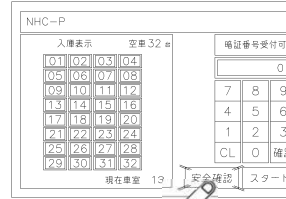
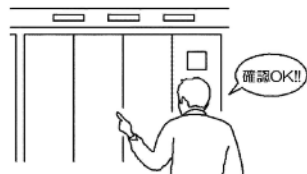
① 操作盤の小扉を、鍵で開けてください。



② タッチパネルのテンキーで暗証番号を入力し、確認ボタンを押してください。



③ 自動扉周辺の安全を確認し、タッチパネルの【安全確認】を押してください。

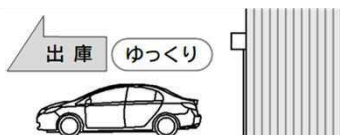


④ タッチパネルの【スタート】を押してください。出庫準備完了後、自動扉が開きます。

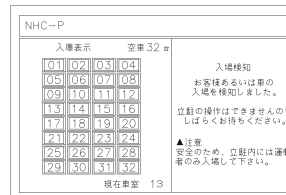
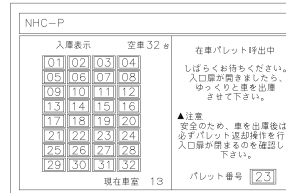
自動扉が動作中、音声案内「扉が動きます。ご注意ください」が流れます



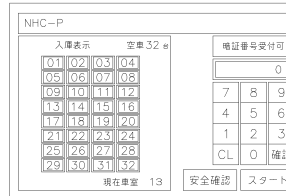
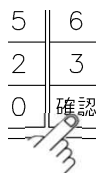
⑤ 車の運転者のみ棟内へ入り、車を棟外へ“ゆっくり出庫”してください。



自動扉が開いた後、音声案内「入出庫完了後、棟内の安全を確認して扉を閉めてください」が流れます



⑥ もう一度、タッチパネルのテンキーで暗証番号を入力し、確認ボタンを押してください。



警告表示

注意

- ⚠ 操作するときは自動扉周辺の無人を確認する
- 🚫 自動扉には手を触れない

危険

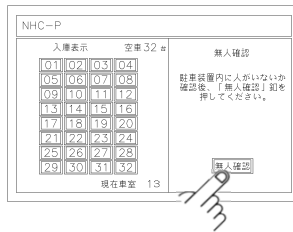
- ⚠ 棟内には車の運転者以外は入らない

警告

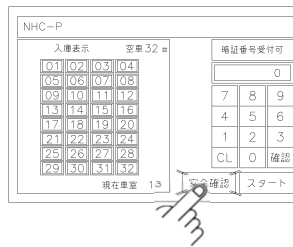
- 🚫 棟内は火気厳禁

- ⑦ 棟内および車内の無人をモニタおよび目視で確認し、タッチパネルの【無人確認】を押してください。

この操作は車の運転者が行ってください

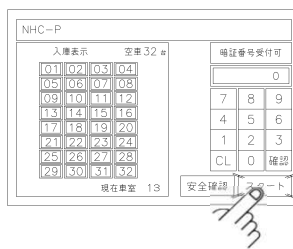


- ⑧ 自動扉周辺の安全を確認し、タッチパネルの【安全確認】を押してください。

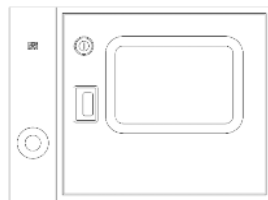


- ⑨ タッチパネルの【スタート】を押してください。自動扉が閉まります。

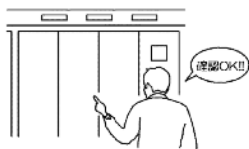
自動扉が動作時、音声案内「扉が動きます。ご注意ください」が流れます



- ⑩ 操作盤の小扉を閉めてください。
※小扉は、閉めたら自動的に鍵がかかります。



- ⑪ 自動扉が閉まったことを確認後、駐車場から離れてください。



操作終了です。

警告表示

危険

操作するときは棟内の無人を確認する

注意

操作するときは自動扉周辺の無人を確認する

自動扉には手を触れない

“入庫した車から忘れ物や荷物を取り出したあと”は 再入庫操作を行ってください

再入庫操作手順

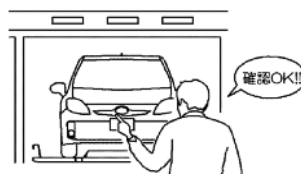
荷物を取り出したら、車のドア、トランク、ドアミラーなどの閉め忘れがないことを確認してください。

棟内の安全を確認し、暗証番号による入庫操作の⑨～⑭を行ってください。

操作終了です。

荷物を取り出す時に車を移動させる必要がある場合

一度、車を棟外に出庫させた後、改めて前進で入庫し、入庫操作を行ってください。
再入庫の操作は行わないでください。



注意

操作するときは自動扉周辺の無人を確認する

自動扉には手を触れない






危険

操作するときは棟内の無人を確認する

棟内には車の運転者以外は入らない

5

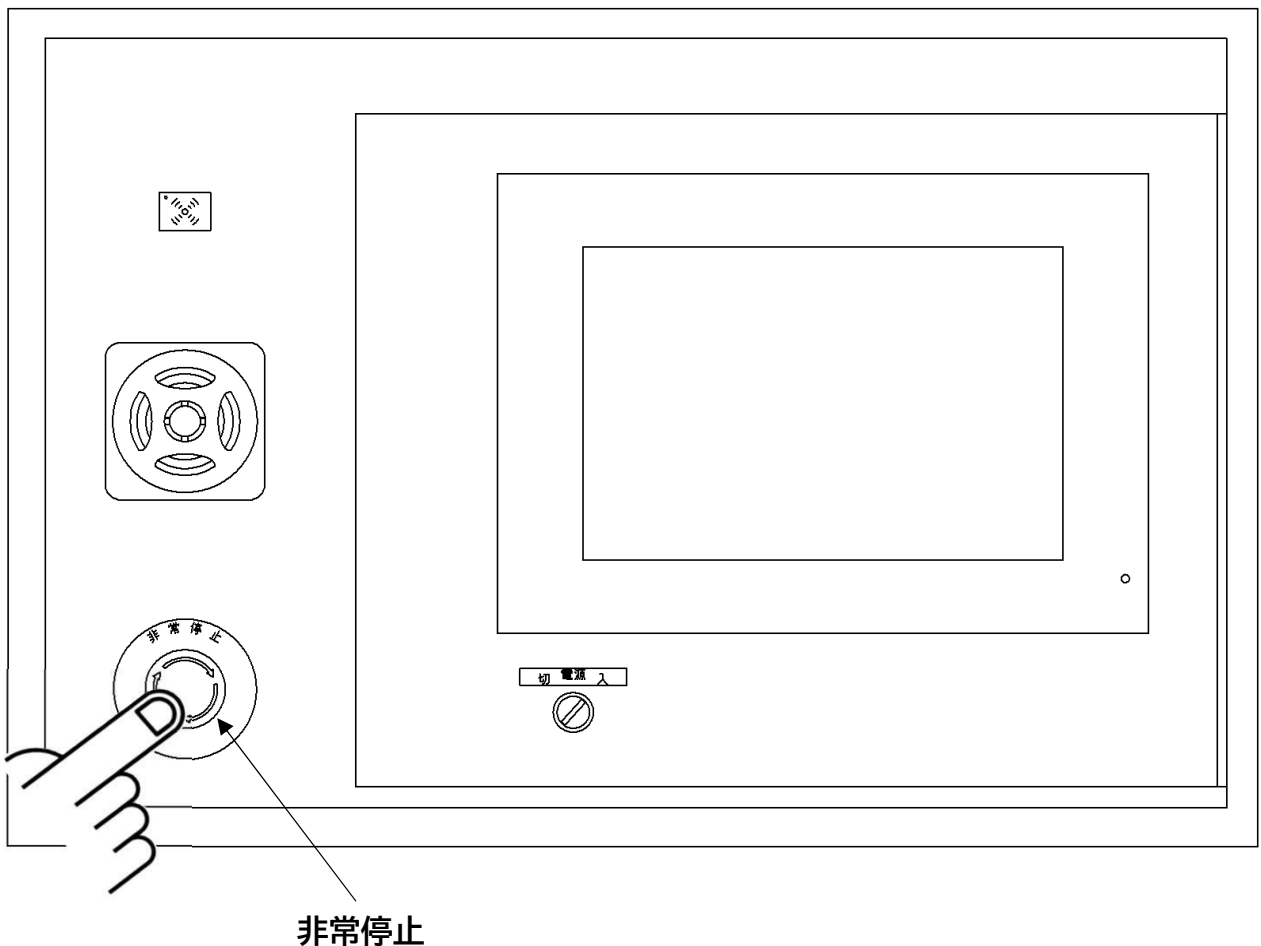
非常停止の操作方法

 注意	 非常停止をさせると速度制御をしない急停止となるので、非常時以外は使用しないでください
	 非常停止を行った時は、管理責任者に連絡してください
	 非常停止を行った時は、理由・状況などをメンテナンス会社に連絡をして指示をあおいでください
	 【非常停止】の位置は、事前に把握しておいてください

自動運転中に非常停止させたい時には、操作盤上もしくは棟内にある【非常停止】（赤色）を押してください。機械はすべて停止します。

非常停止の位置

操作盤上

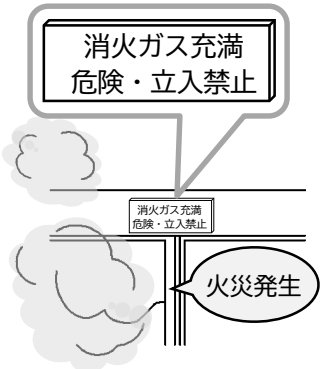


6

災害などの非常事態の対処

火災が発生した場合

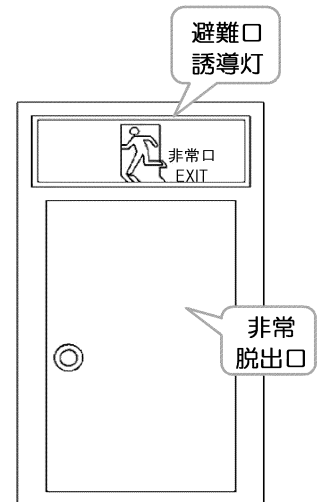
危険	❗ 必ず消防署の指示に従ってください
	🚫 消火ガス放出表示灯が点灯したときは、絶対に棟内に立ち入らないでください
	🚫 鎮火後でも棟内に立ち入らないでください



警告	❗ 棟内に閉じ込められた時のために、必ず非常脱出口の位置を事前に確認してください
	❗ 運転を再開するときは、必ずメンテナンス会社に連絡し、指示をあおいでください

サーキュラータワーには、消防法に従って消火ガスによる消火設備を備えています。本消火設備は、火災が発生した際に消火ガスを放出し、消火する設備です。誤った取り扱いは人身等に被害を与える場合があります。消火設備の取り扱いは管理責任者または管理責任者より『装置の運転教育』を受けた方が必ず行ってください。

1. 火災警報がなったら、直ちに消防署に通報すると共に管理責任者に連絡してください。
2. 棟内および周辺は危険です。直ちに安全な場所に避難してください。
3. 鎮火後の消火剤の排出は、消火剤による窒息の危険をともないますので、消防署の指示に従って、駐車装置から離れて待機してください。
4. 消火設備に異常があった場合には、管理責任者に連絡すると共に絶対に棟内に立ち入らないでください。

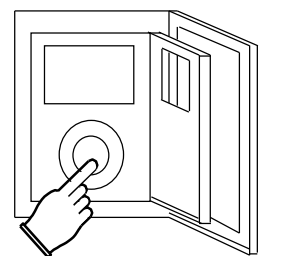


詳しくは別紙の「消火設備取扱説明書」を熟読して、適切に処置してください

消火設備の操作手順



- ① 棟内に人がいないことを確認してください。
- ② 消火設備手動起動装置の「扉」と「小扉」を開けてください。
- ③ アクリルカバーを押し破り、「起動スイッチ」または「放出スイッチ」を押してください。
(自動扉が自動的に閉まり、消火剤が噴射されます)

※ 作動を中止させたい場合は、消火剤が放出される前であれば、アクリルカバーを押し破り、「緊急停止スイッチ」を押してください。消火剤の放出は中止されません。(放出開始後は中止できません)



消火設備手動起動装置

地震が発生した場合

 **警告**  地震発生時はすみやかに棟外へ避難してください

1. 運転中は【非常停止】を押し、すぐに機械を停止させてください。
 2. 管理責任者に連絡し、指示に従ってください。
安全が確認されるまでは、絶対に棟内に入ってははいけません。
 3. 管理責任者は、異常・危険がないことを確認してください。
異常・危険があった場合は、メンテナンス会社に連絡してください。
 4. 震度5弱以上の地震が発生した場合は、メンテナンス会社に連絡してください。
また、運転再開前に、メンテナンス会社による特別点検を受けてください。
- ※ 震度5弱以上の場合には、棟内に設置してある地震感知用の感震装置により機械を強制的に停止させます。




台風および大雨の場合

1. 暴風警報、大雨警報が発令されている場合は運転を自粛してください。
2. 台風通過後は、異常がないことを確認してください。
3. 大雨などで棟内やターンテーブルのピット内に水が溜まっている場合には、メンテナンス会社に連絡して指示に従ってください。

事故が発生した場合

1. 棟内で危険が予測できるときや、事故が発生した場合は、すみやかに【非常停止】を押し機械を停止させてください。
2. 事故の状況を把握し、適切な応急処置をとってください。
3. 必ず管理責任者に連絡してください。
4. 運転を再開するときはメンテナンス会社に連絡してください。
5. 重大な人身事故などの場合は警察および消防署に通報してください。

停電の場合

 **警告**  装置の運転教育を受けていない人の操作は禁止です
 操作するときは棟内の無人を確認してください

機械は停電時の動作途中で停止しているため、復旧後は復帰操作を行ってください。

1. タッチパネル画面のエラー表示を確認してください。
2. 管理責任者にエラー表示を通報し、その指示に従ってください。

故障の場合の連絡先

もし、装置が故障した場合、メンテナンス会社（操作盤に貼付）に連絡してください